

# 力強い踊りや遊戯を披露

## 浦河フレンズ 総合文化会館で発表会

浦河町の幼保連携型認定こども園浦河フレンズのようちえん(岡田留美子園長)は18日、町

総合文化会館文化ホールで発表会を開催した。園児たちの力強い踊りやかわいらしい遊戯に、観覧席の保護者や祖父母らは顔をほころばせていた。

今年で49回目となる同園の発表会には、年長、年中、年少クラスの園児71人と0〜2歳児クラス37人の園児が参加。園での活動の中で取り組んだ体操や、発表会に向けて練習してきたお遊戯などを元気いっぱい披露した。

発表会は、園児たちの日常の活動の様子を撮影したスライドショーでスタート。年長くじら組女子による花笠音頭で会場を活気づけたあと、前半

衣装で曲に合わせて体を動かしながらのお遊戯。元気いっぱいステージ上で動き回る子や泣き出してしまう子もいて、子どもたちの自由でほほえましい姿に会場からは笑みがこぼれていた。

後半は、年長、年中、年少クラスの発表が行われ、年長くじら組男子によるソーラン節の民舞をはじめ、園で体育遊びの時間に取り組んでいるマット運動や跳び箱、縄跳びで得意技を披露。

クラスごとのお遊戯のあとは、年長組による恒例の浦河豊年太鼓で発表会を締めくくり、会場からは大きな拍手が送られた。

ステージ上で躍動する園児たち



観覧には、保護者や祖父母など多くの家族が訪れ、我が子の成長した姿を収めようとカメラやスマートフォンで熱心に動画を撮影をしていた。